

(別紙)

審査基準

下表の基準に従って審査員が、企画提案書等について評価の視点をもとに評価したものを審査点(100点満点)とする。最終的に各審査員の審査点を合計して総合点を算出し、最高得点を得た者から順位を付けるものとする。ただし、順位決定を行う際に、同位の提案書が複数ある場合は、審査員全員の多数決により順位を決定する。

なお、審査員の1名以上が評価項目のうち1項目でも評価点2点未満とした場合(評価項目④及び⑤を除く)、又は審査点が40点未満の場合は失格とする。

計 100 点

評価項目		評価の視点	配点
取組の実現性	企画提案参加者の経営状況等	① ・会社規模、財務状況、スケジュール、実施体制等を含め提案された内容の実現が可能と判断できるか。 ・類似事業の実績があり、ノウハウを活かすことが期待できるか。 ・社会起業家等の輩出の実績はあるか	5点(評価点) ×1=5点
	本業務遂行のための体制	② ・プロジェクトチームの編成、人員、関連会社、協力会社等の体制は十分か。 ・県内企業や支援機関、支援者等との連携は図られているか。 ・全国の社会起業家等とのネットワークを有するか。	5点(評価点) ×2=10点
企画提案内容	共通	③ ・提案が本委託業務のコンセプト・ターゲットを十分に理解した設計となっているか。 ・事業全体が相互に連動する仕組みとして設計され、社会起業家を中心としたエコシステムの構築やネットワーク拡大が期待できるか。 ・評価指標の設定は適切か。	5点(評価点) ×2=10点
		④ ・積算金額、内容は妥当か。	5点(評価点) ×1=5点
	事業費	⑤ ・総事業費は安価であるか。 5点×応募者中の最低価格/応募者の提案価格 ※小数点以下第1位で四捨五入	5点
		インパクトプログラム	⑥ ・事業趣旨を十分に踏まえた募集方法、選定基準となっているか。 ・潜在的な社会起業家候補者を効果的に発掘することは可能か。 ・説明会または相談会等事業趣旨が適切に伝わる方法をとっているか。
	⑦ ・社会起業家創出・成長に必要な十分な内容か。 ・講師の選定は適切か ・県内企業や前年修了生との連携体制はとれているか		5点(評価点) ×2=10点
	⑧ ・テーマや視察先は適切か。 ・実現可能か		5点(評価点) ×1=5点
	⑨ ・幅広く、効果的なネットワーク構築が見込めるか。 ・社会起業家を取り巻くエコシステム形成に寄与するか。		5点(評価点) ×1=5点
	⑩ ・伴走支援の実施体制は十分か ・伴走者は適切か ・モチベーションの低下による離脱者発生リスクを回避できる内容か		5点(評価点) ×2=10点
	補助金審査会	⑪ ・外部有識者は社会起業家支援に知見のある者が提案されているか。 ・審査会の運営方法や審査基準は適切か。	5点(評価点) ×1=5点
	支援者向けセミナー	⑫ ・本県のソーシャルビジネスを取り巻く課題認識は適切か。 ・テーマや対象者の設定は適切か。 ・単なる啓発にとどまらない、実践的かつ効果的な提案となっているか	5点(評価点) ×2=10点
	広報ブランディング	⑬ ・効果的な広報戦略がとられているか。 ・「新たな挑戦への支援」という県の方針や、社会起業家育成の機運醸成を踏まえた広報戦略となっているか。	5点(評価点) ×2=10点